



宮司プレス 第二十号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十年一月一日

宮司の柴田です。

平成二十年の清々しき新年を寿ぎ、謹んでお慶びを申し上げます。皆様方には、氏神様八幡大神様の厚き御加護のもとに、ご家族お揃いにて輝かしい新年をお迎えの事と拝察申し上げます。

年頭の御挨拶 口 新

昨年は、私も日常生活に関わりが深い食品の偽装の問題が次々と報じられました。今は自由競争社会ではありませんけれども、「損が得か」のものさしで、生産活動をしているような気がします。これは、人間のものさしではないかと思っております。やはり「嘘か誠か 正義か邪悪か」という神様のものさしで、日々新しく、旧来の悪習を改める事が大切だと思います。

私は、宮司に就任して三回目の迎春ですが、この新しい年も、「神様を喜ばす心」を忘れずに御奉仕申し上げます。その中で、春風のさわやかさで参拝者や地域の人と接し、人も喜ばし、運命共同体としての地域社会の一員

として公に生きていきたいと思えます。ま

さにそれは、「尽私生公じんしせいこう」であります。そ

して感謝の心を忘れずに、常に日々新しくとい

う思いで、年頭の言葉を「日新にっしん」としたためました。平成二十年の最初の宮司プレスも第二十号、新たな一歩です。

お正月のいわれ

クリスマスが終ると年越しの準備として新年の飾りつけを行います。年の始に穀物

の霊みたまである農耕の神様の「歳神様としがみさま」を迎え

て、その年の五穀豊穡と家族の健康を祈願したので

です。そして、その歳神様は、正月飾りを目印にやって来られてそこに宿り、特に門松へ最初に降りてきて、一年の幸福を授けてくれると考えられていました。玄關飾り

やしめ縄などの正月飾りは、歳神様に正月の間とどまってもらうという大切な役目があるのです。そして、歳神様にお供えした

物を、元日の朝に下げて食べる、いわゆる

「直会なおらい」の料理が「お雑煮」であります。お

せちは、もともとの語源は「おせちく（お節供）」で、正月や桃の節句、端午の節句の季節の節日に神様に豊作を祈って食物をお供

えたのが始まりです。お正月に歳神様が来

ている間に、煮炊きを謹み静かに過ごすという意味合いがありました。今では主婦が正月の三日間を休めるようにという意味が大

きいようです。日ごろ疎遠にしている者同士が新年を祝つために行き来し、「仲むつまじく」することから、正月を「睦月（むつき）」

あるいは、「むつまじつき」ともいわれます。今年

は、「戊子（つちのえね）」の年です。今年

は、天皇陛下が御即位されて二十年という佳節でもありますが、戊子の年です。

戊（ぼ）は、もともと茂（ぼう）をその語源とし、草木が繁茂して盛大になった状態です。

子は孳じ（ふえる意）で、新しい生命が生まれようとして

いる状態を表しています。子は動物では「ねずみ」が

あてられています。ねずみは、ご存知のように、繁殖力が大きい動物です。今年のエトにあやかり、良き事が

次々に生まれ増殖し、幸せ満ち溢れる年であり、ますよう心からお祈り申し上げます。

十二月の祭典行事報告

大注連縄おろし *十二月二日



祈漁祭 *十二月三日

福浦金刀比羅宮注連縄祭

*十二月十六日

朝粥会 *十二月二十一日 早朝



天長祭 *十二月二十三日



正月臨時巫女説明会*十二月二十三日

手水の作法の練習風景



宮司が臨時巫女の委嘱状を授与



田の首八幡宮注連縄祭

*十二月二十三日

大祓式 除夜祭

*十二月三十一日

一月の祭典行事予定

歳旦祭

*一月一日(本宮・福浦金刀比羅宮・

貴布禰神社)

*一月十一日(六連島八幡宮)

*一月十四日(田の首八幡宮)

元始祭 *一月三日

会社新年祈願参拝 *一月四日、七日

早起会新年祭 *一月十三日

朝粥会 *一月二十一日

どなたでも参加できます、祈願祭の後宮

司講話 お粥(今月は、七草粥!)を食

します

防災訓練 *一月二十六日

一月の宮司の予定

山銀はつてんクラブ新年会 *一月八日

西信経友会新年会 *一月十一日

当宮維蘇志会新年例会* 一月十五日

神社庁下関支部総会 *一月二十三日

玄洋中PTA臨時総会 *一月三十日

杉田町自治会役員会に式年大祭の趣旨

説明に向向 *一月三十一日



毎年、巖流島を清掃奉仕されている野菊の会です!